

# 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づく通級による指導の実践について



**羽曳野市立高鷲小学校**

# 本報告の内容

1. 学校の紹介
2. 校内支援体制
3. 通級による指導
4. 個別の教育支援計画・指導計画に基づく実践  
通常の学級との連携
5. 実践報告をふりかえって

# 1. 学校の紹介

## 学校目標

『子どもの笑顔と喜びがいっぱいの学校』

< 子どもの可能性のために > ~知（判断力）・仁（誠意）・勇（行動力）~



教員数：30名、児童数334名  
学級数：1年～6年各2クラス、  
支援学級5クラス  
通級指導教室かがやき1クラス



たんぼぼ書道がとても  
感動しました。大きい筆でき  
れいな字が書ける  
なんてすごい  
と思いました



6年のえんそうが  
みんないきぴりたりですご  
かった。とても上手できれいな  
書だった。

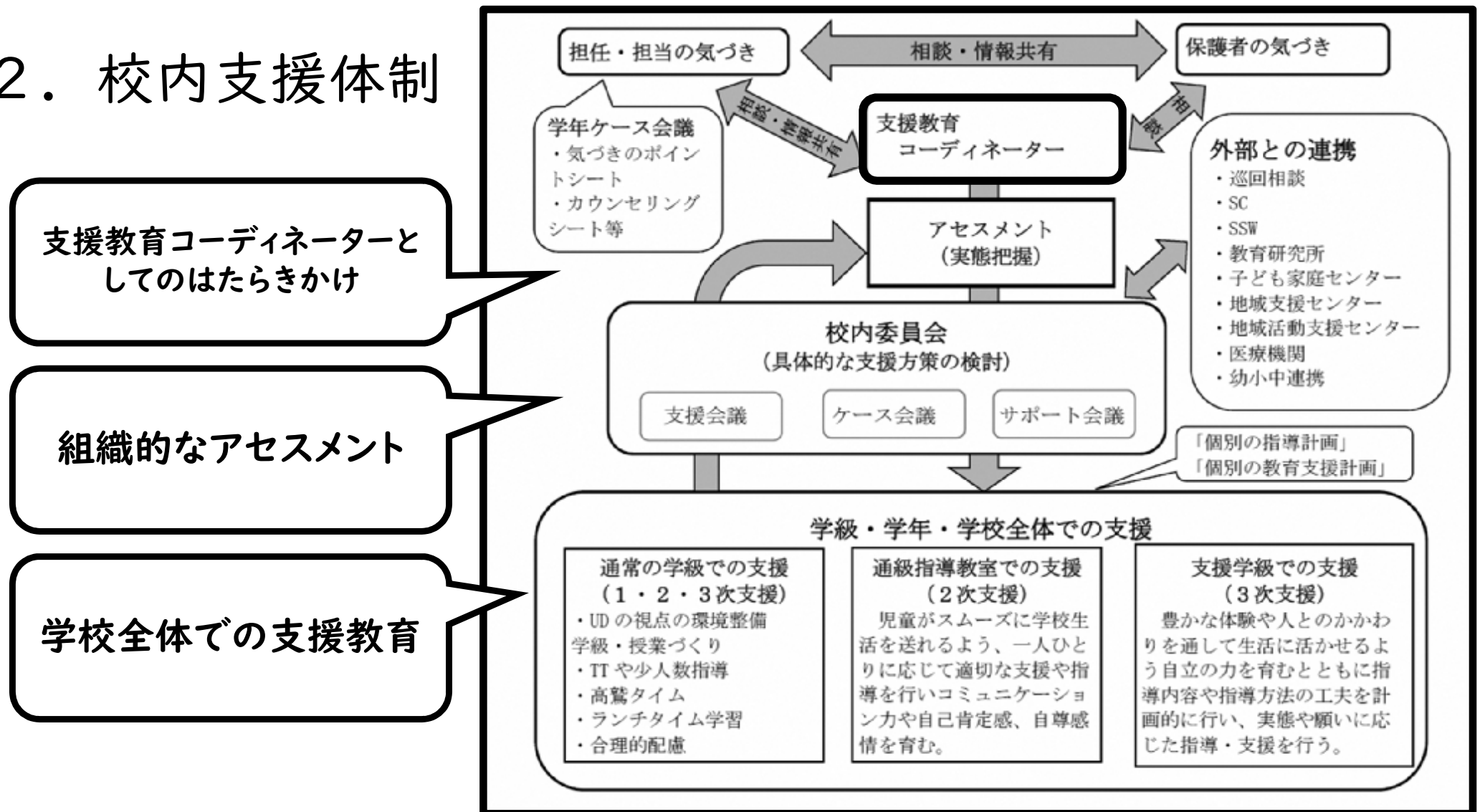
一人ひとりを大切に

輝く場の設定

高おし小学校のたきしを見て、昔の  
高おし小学校は木造だったので  
びっくりしました

5人だけでふいている  
のにみんなきれいに  
できるのはすごい  
たんぼぼのリコーダーは1人1人ちがう楽みを  
ふいているのはすごくびっくりした。自分た5人  
リコーダー以外でもかまはりたい。

## 2. 校内支援体制



## スムーズな学校生活を 送るために

～気づき・理解・早期支援を～



羽曳野市立高鷲小学校  
R3.12.2 入学説明会  
支援教育コーディネーター



〇回(〇分)したら  
片付けようね

すごい！  
できたね！

うれしいわ。  
ありがとう。

かしてあげて  
えらかったね。

いやだったね。  
わかるよ。

大丈夫。  
心配いらないよ。

教えてあげるよ。  
一緒にやってみよう。

### ★ほめ方のポイント★

- ・すぐに、わかりやすい言葉で、具体的に。
- ・抱きしめる、頭をなでる、等も効果的☆

絵や写真があると  
わかりやすいよ。

ほめられると  
次もがんばれるよ。

ゆっくり言ってもらおうと  
わかりやすいよ。

苦手なことをわかってもらえると  
安心できるよ。

前もってわかっていると  
安心するよ。

静かだと  
落ち着くよ。



ほめられることが自信ややる気につながります。  
小さなことでもできたことを見つけて  
ほめてあげましょう。(⇒成功体験)

## それでも、うまくいかないことも...

### ◆小学校入学後、

- ・学習面
- ・対人関係面
- ・生活、行動面

などでうまくいかない  
ことがある。



### ◆家庭では穏やかなのに、

学校では行動面の課題が大きくなる子も…。  
(学校は刺激が多く、変化に富んだ環境のため)

入学説明会等で保護者へ

## 2. 校内支援体制（年度当初職員会議）

○ユニバーサルデザインの視点

○個々に必要となる合理的配慮の内容の共有

①教室環境を確認する。（机の並び方、収納状況、掲示物 等）

②机の上に置くものを確認する。（教科書、ノート 等）

③授業のめあてを視覚化し、本時のポイントを明確に示す。

④全員が静かになったことを確認してから、話し始める習慣をつける。

⑤板書を工夫する。（量、位置、区切り線、色の配慮）

⑥「聞くとき」「話すとき」「書くとき」を区別し、同時に提示しない。

## 2. 校内支援体制（年度当初職員会議）

○ユニバーサルデザインの視点

○個々に必要となる合理的配慮の内容の共有

⑦大切な指示や内容等のだいじなところは何度か繰り返し説明する。

⑧できるだけ視覚的に示すことができる教材・教具を多用する。

⑨子どもの努力や取組みをほめる機会を多くつくる。

⑩授業のなかで、何度かリスタートの場面をつくる。

⑪思考ツールを活かした言語活動を設定する。

⑫本時のポイントを復唱し、授業のまとめ、ふりかえりを行う。

**支援教育は 「学校全体で行う」 ことの確認**



# 3. 通級による指導

令和2年度に設置（今年度で3年目）

教室名 かがやき教室

一人ひとり自分らしく輝いてほしい  
という願いをこめて

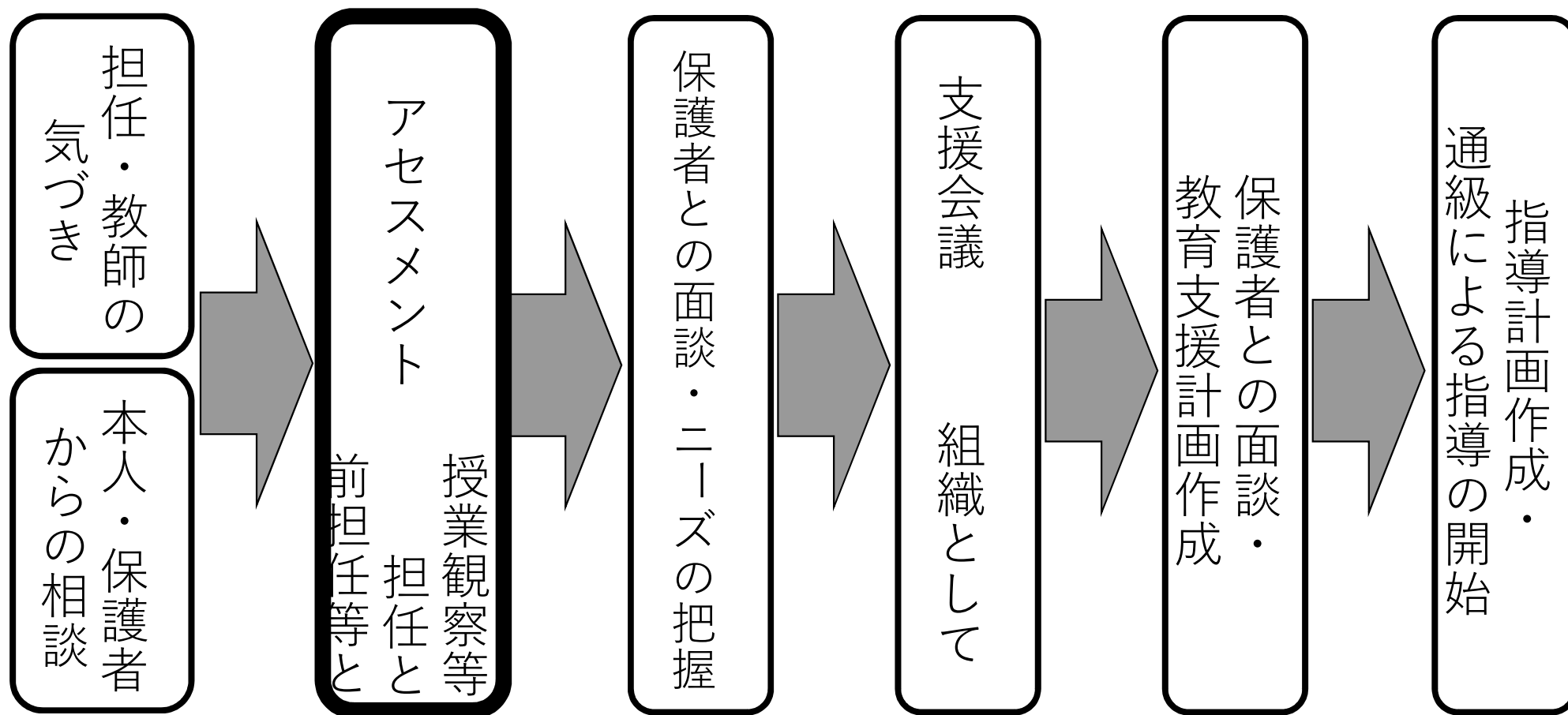


利用状況

年度	自校	他校	巡回	児童数	指導校数
R2	15	1	4	20	4校
R3	20	2	1	23	2校
R4 (11月現在)	17	1	1	19	2校



# 通級による指導の開始まで



#### 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践事例（小学校2年生児童）

○小学校1年生の2学期から2年生の2学期まで通級による指導を受けた児童の実践

- 担任が1学期より個別の指導計画を作成し支援をしていた児童。
- 集中が続かず話を聞くことが苦手、ひらがなの読み書きが定着していない、学校生活のリズムがまだ身につけていないことなどを保護者や担任が特に心配していた。
- 1年生の2学期、教育相談を実施し通級へ。

## 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践

### 教育支援計画

課題と願い	学習に対して自信がない。たくさん褒められたい。(本人) 楽しんで学校に行ってほしい。文字を覚えて日常的に使えるようにさせたい。(保護者)	
本人の様子	学習	対人関係 <ul style="list-style-type: none"> <li>・はっきりした声で話すことができる。</li> <li>・集中が続かず落ち着きがない。</li> <li>・数え間違いや聞き間違いが多い。</li> <li>・言葉の指示だけではなく絵や写真、実物があると理解できる。</li> <li>・ひらがなの読み書きが定着していない。</li> <li>・似た文字や線の向きを間違える。</li> <li>・文字を思い出して書くことが苦手。</li> </ul>
	生活・行動	その他(運動面・感覚面) <ul style="list-style-type: none"> <li>・家で歌ったり踊ったりすることを好む。</li> <li>・じっとしていることが苦手で姿勢の保持が難しい。</li> <li>・はみ出さずに色を塗ったりまっすぐに書くことが苦手。</li> <li>・微細運動が苦手なため、細かい工作や絵を描くことに苦手意識がある。</li> <li>・粗大運動は体の動かし方がややぎこちなく、手足を同時に動かす縄跳びや鉄棒が苦手。</li> </ul>
	興味 関心 得意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームや歌ったり踊ることが好き。</li> <li>・はっきり大きな声で話すことができる。</li> <li>・絵や写真、実物があると理解がはやすい。</li> </ul>
支援の目標 (優先課題)	自分らしく、いきいきと学校生活を送ることができる。	
支援の留意点・ 合理的配慮	本人と一緒に連絡帳を見ながら、明日の持ち物や帰ってやるべきことを下校前に確認する 教室にひらがな表を掲示するとともに、分からない時に見られるよう、机の横にひらがな表をかけておく。 できたことを認める声かけを行う。	

得意…赤

## 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践

個別の教育支援計画から推定される

児童の実態（アセスメント）

- 幼児期より、新しい環境に馴染むことが苦手で、状況に合わせた言動をとることが難しく、登園しぶりが見られた。
- 忘れ物をして困っているときに、どうしたらいいのか分からない。
- じっとしていることが苦手なため、授業中が窮屈。
- 文字を読んだり書いたり、正確に計算することが苦手。
- 微細運動や粗大運動がぎこちなく、上手にできないことがある。
- 学習が本格的に始まり、本児の苦手な力を要求される場面が多く、うまくいかない体験が重なっている。

自己有用感の低下

学校への行きしぶり

## 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践

### 個別の教育支援計画から、自立活動の区分に即した整理

自立活動の区分に即して実態把握の整理

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズム、学習リズムが定着しにくい。</li> <li>確認・伝達不足による忘れ物</li> <li>どこに何を直すか、整理の仕方がわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周りを気にする。立ち振る舞いの正解がわからないことから、新しい環境に慣れにくい。</li> <li>苦手なことを避けがち</li> <li>○任された仕事はきっちりこなす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>困っていることを言葉で伝えにくい。</li> <li>適切な言動がとりにくく、ルールの理解がしにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書字</li> <li>視空間認知</li> <li>活動のイメージがしにくいと、集中の持続が5～10分。</li> <li>○視覚支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手足が両方動くなど、粗大運動に課題がある。</li> <li>運筆</li> <li>姿勢保持</li> <li>○はっきりした声を出せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりのある声かけができる。</li> <li>○友だちに優しく接することができる。</li> </ul>

待機	○思いやりのある声かけや行動をすることができ
支援の目標 (優先課題)	自分らしく、いきいきと学校生活を送る
支援の留意点・合理的配慮	本人と一緒に連絡帳教室にひらがな表を書けたことを認める

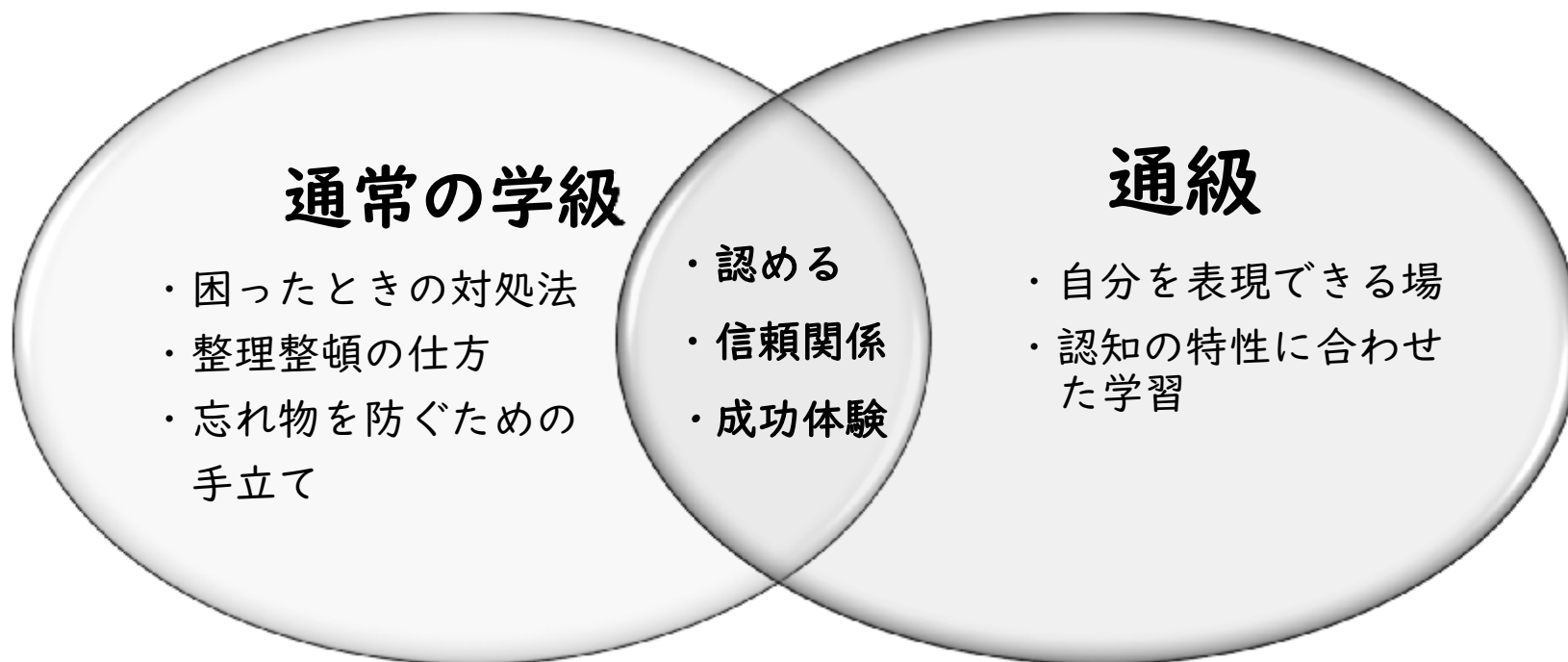
### 指導の方向性

得意…赤

#### 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践 ～通常の学級との連携(1年生)～

##### 連携内容

- ・ 苦手なことを分担して支援
- ・ 連絡帳、放課後の情報共有
- ・ 通常の学級や通級で学んだことをお互いの場で強化



# 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践 1年2学期

	2学期
短期目標	通級指導教室で学習することができる。
自立活動区分	2-(2) 心理的な安定
指導内容 (支援の留意点・手だて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声を出す活動を多く取り入れる。</li> <li>・文字を読むために絵を活用する。 →ひらがなカード、反対ことばカード等</li> <li>・気持ちをほぐすために体を動かす。 →風船バドミントン等</li> <li>・担任と確認したことをロールプレイで声を出して練習する。</li> <li>・笑顔で温かい雰囲気、認める声かけを心がける。</li> </ul>

得意な声を使う

「はっきりした声」という得意を活用し褒める

得意な絵を活用して文字を読む

楽しく粗大運動

通常の学級との連携





#### 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践 通常の学級との連携・評価（1年生2学期）

##### 通常の学級及び 家庭での支援

- ・通級指導教室へ送り出す環境整備。
- ・戻ってきたら話を聞き、褒めて認める。
- ・困りごと解決のルール作り。
- ・やることを確認してできたら褒める。
- ・整理整頓を一緒に行う。
- ・宿題をしてから下校
- ・下校前に、連絡帳を見て持ち物の確認。
- ・保護者と一緒に持ち物をそろえる。

##### 評価

- ・通級指導教室へ来ることを楽しみにするようになった。
- ・文字を読むことに慣れた。
- ・忘れ物をした時など担任の先生に伝えられるようになってきた。

# 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践

## 1年3学期

	3学期
短期目標	特性に応じた学習方法でカタカナを覚えることができる。
自立活動区分	2 - (3) 心理的な安定 4 - (5) 環境の把握
指導内容 (支援の留意点・手だて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を手がかりに音と文字のマッチングを行う。 →カタカナカルタ等</li> <li>・線の長さや数、向き等を注意深く見比べさせる。 →マッチングゲーム</li> <li>・始点の位置の違いを補助線等で視覚的に示す。 →はじめのいっぽ等</li> <li>・笑顔で温かい雰囲気、認める声かけを心がける。</li> </ul>

興味関心の遊びやゲームを活用し、認知の強化

視覚支援で分かりやすく

得意な力である絵を活用し想起しやすく



## 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践 通常の学級との連携・評価（1年生3学期）

### 通常の学級及び 家庭での支援

- ・ 指示を短く明確に、視覚支援を行う。
- ・ アイウエオ表を教室に掲示。
- ・ 困りごと解決のルール作り。
- ・ できたことをしっかり褒める。
- ・ 放課後宿題のやり方や習慣化の支援。
- ・ 下校前に担任と持ち物の確認
- ・ 家で保護者に伝え持ち物をそろえる。

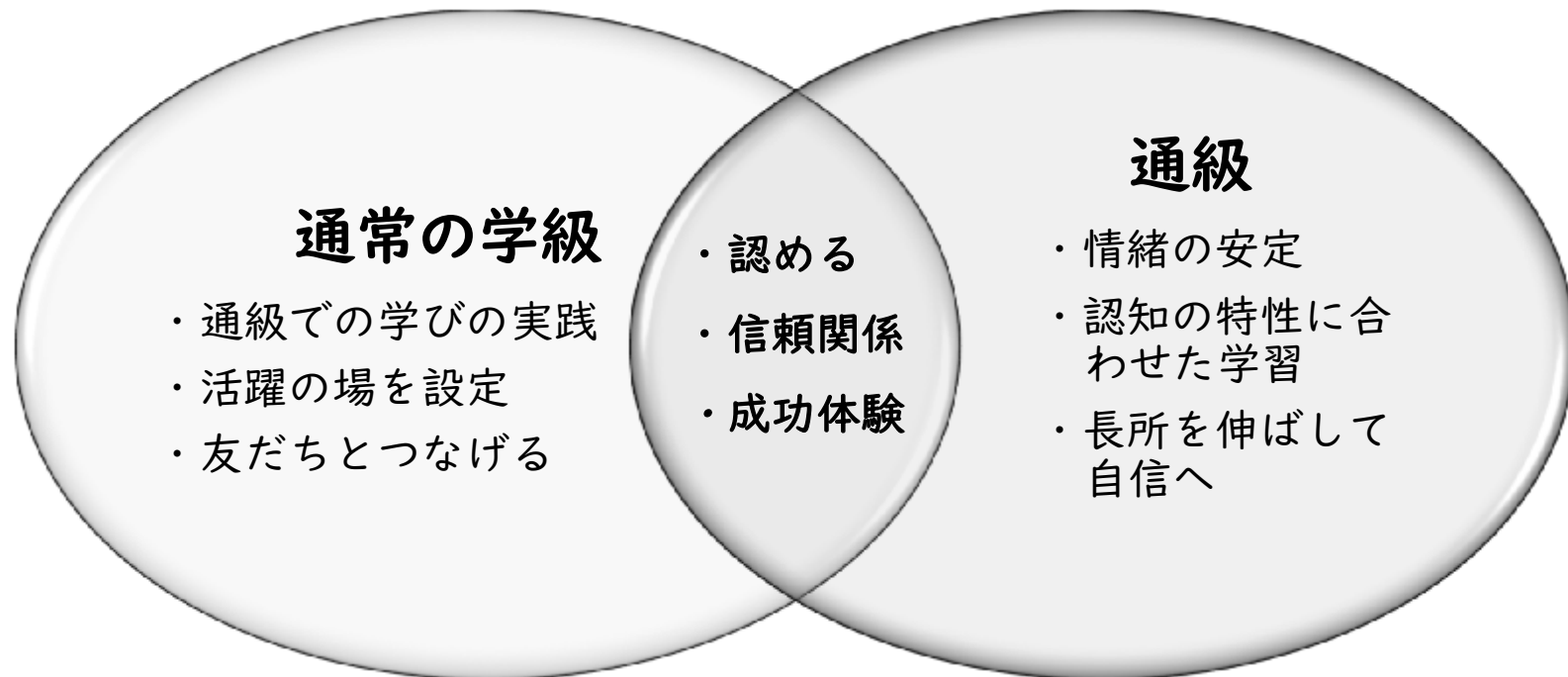
### 評価

- ・ 絵がなくてもカタカナが読める。
- ・ 「シ」と「ツ」の違いを意識して書ける。
- ・ 書くと「三」に近い「ミ」になる。
- ・ 苦手な字を直前に練習してからテストをすると、カタカナを全文字書くことができた。

#### 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践 ～通常の学級との連携（2年生）～

##### 連携内容

- ・連絡帳や放課後等の情報共有
- ・通級での学びを通常の学級で実践
- ・児童の得意をいかして支援



# 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践

## 2年1学期

	1学期
短期目標	絵を利用して漢字に興味をもつ。
自立活動区分	2 - (3) 心理的な安定 4 - (2) 環境の把握
指導内容 (支援の留意点・手だて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵を使い漢字の読み方や意味を覚える。 →漢字イラストカード、タブレット等</li> <li>覚えにくい漢字はパーツに分ける。 →漢字パズル等</li> <li>スモールステップで視知覚や運筆の向上を図る。 →点つなぎ等</li> <li>良くなったところを見つけ、認める声かけを行う。</li> </ul>

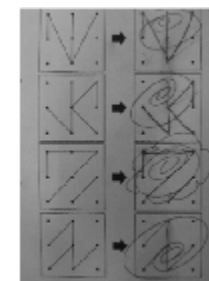
絵で興味づけ

絵やパズルで覚えやすく

知っている字を利用

継続して認知の強化

スモールステップで達成感



# 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践

## 2年2学期

2学期	
短期目標	国語の授業で発表することができる。
自立活動区分	2 - (3) 心理的な安定 6 - (5) コミュニケーション
指導内容 (支援の留意点・手だて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽しい雰囲気ゲームをし、経験したり思ったことを話す。 → トーキングゲーム等</li> <li>・ 動作化して表現豊かに音読する。</li> <li>・ 自分の考えを説明する。(音読の表現理由等)</li> <li>・ スモールステップで聞き取る力の向上を図る。 → きくきくドリル等</li> </ul>

得意なことをさらに伸ばし自信へ

繰り返し褒め自信へ

受け入れ認める

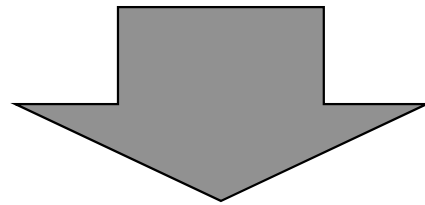
レベルアップで意欲



## 4. 「個別の教育支援計画」「指導計画」に基づく実践

### 〈児童の変容〉

- ・遅刻がなくなり、毎日学校に来ていきいき過ごせるようになった。
- ・自ら進んで漢字の学習に取り組むようになった。
- ・苦手なことに最後まで取り組む姿勢が見られた。
- ・クラスで積極的に意見を発表するようになった。
- ・外で元気に遊ぶようになった。



優先課題が解消されたことから、通級を終了することになった。

## 5. 実践報告をふりかえって

多面的・多角的な  
視点による児童  
理解の深まり

関わる教員との  
連携・組織的な支援

様々な場で活用  
できる支援ツール

普段から  
活用しやすい、  
様式の工夫



ご清聴ありがとうございました



## 〈主な参考文献・教材等〉

- ・ 『反対ことばカード』 銀鳥産業（株）
- ・ 『通常学級でみんなといっしょに学べる  
特別支援教育 はじめのいっぽ！国語のじかん』 Gakken
- ・ 『みるちから』 DDサポートひらかた近藤春洋先生
- ・ 『意味からおぼえる漢字イラストカード』 かもがわ出版
- ・ 『トーキングゲーム』 tobi raco（株）
- ・ 『漢字の基礎を育てる 形 音 意味 ワークシート①  
空間認知編 点つなぎ・図形模写』 かもがわ出版
- ・ 『脳力がグングン伸びる！きくきくドリル』 文英堂